

番号；	教材・教具名； 場面理解カード	教科・領域；	学部； 高等部	制作者； 城間あきの
-----	--------------------	--------	------------	---------------

教材・教具
「見る・書く・手を挙げて発表・友達に注目・聞く・静かに」という指示を文字とイラストで表したものをA4サイズに拡大して、ラミネートしたものにマグネットを付けて作成した。

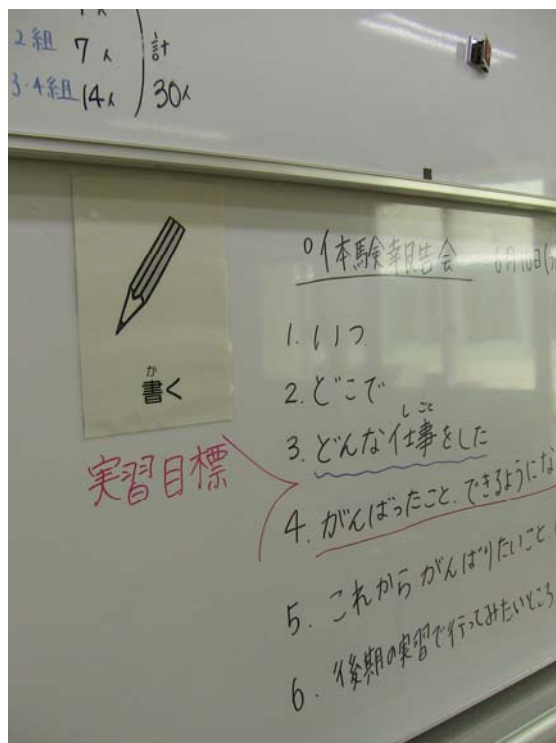


制作理由
・教師が話をしているにもかかわらず自分の興味のあることばかりを話したり、友達の発表に注目できないなど、状況の読み取りが弱い生徒が、今は何をすべき場面なのかを理解しやすいよう作成した。

指導ポイント
・今は何をやる時間なのか、場面理解カードで確認させた後、「話を聞く」、「書く」等の活動をさせる。
・活動の途中で、関係のない活動をしている場合には、言葉かけや指差し等で気づかせるようにする。
・守ることができている場合は、褒めるようにする。

具体的な活用方法

- ・場面カードをホワイトボードに掲示して、今すべき活動を確認してから活動を始める。



参考にした文献

「教室でできる

特別支援教育のアイデア 中学校編」

編集：月森 久江

発行：株式会社 図書文化社